



Information Management

## IBM solidDB v6.5 製品ファミリーの新機能

特長		IBM solidDB v6.5 インメモリー・データベースは超高速処理のために最適化された製品です。
solidDB Universal Cache v6.5 および solidDB v6.5	solidDB Universal Cache v6.5	IBM solidDB <sup>®</sup> 製品ファミリーはリレーショナル・インメモリー・データベース・ソフトウェアであり、従来のデータベースの 10 倍の超高速処理を実現します。親しみやすい SQL 言語を使用し、本製品に基づいて、アプリケーションは 1 秒あたり数十から数十万のトランザクションを数マイクロ秒のレスポンスタイムで処理します。
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 共有メモリーへのアクセス</li><li>■ 分散トランザクションのサポート</li><li>■ 複数言語サポートの強化</li><li>■ 新規の監査証跡機能</li><li>■ パフォーマンス、使いやすさ、およびセキュリティを強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ データ・エージング</li><li>■ SQL パススルー</li></ul>	IBM solidDB は超高速でデータを提供するソフトウェアとして世界中で知られています。通信ネットワーク、エンタープライズ・アプリケーション、および組込みソフトウェアおよび組込みシステムにおいて、300 万件以上の solidDB インスタンスが使用されています。CISCO、HP、Alcatel、および Nokia Siemens といった業界の先進企業は、solidDB を活用してミッション・クリティカルなアプリケーションを構築しています。

IBM solidDB 製品ファミリーは 2 種類の製品によって構成されています。

- **IBM solid DB:** 完全な機能を持つリレーショナル・インメモリー・データベースであり、超高速処理と究極の可用性によって、リアルタイム・アプリケーションが要求するパフォーマンスと信頼性の要件を満たします。

本製品は、リレーショナル・インメモリー・テクノロジーと超高速データ同期機能を提供します。

本製品とともに、IBM は以下の製品を提供します。

- **IBM solid DB Universal Cache:** 業界における初めてのリレーショナル・インメモリー・キャッシュ・ソフトウェアであり、IBM DB2<sup>®</sup>、IBM Informix<sup>®</sup>、Oracle、Microsoft<sup>®</sup> SQL Server、および Sybase の処理速度を加速化し、処理速度を最大 10 倍改善します。

本データシートには、solidDB および solidDB Universal Cache バージョン 6.5 の最新機能が説明されています。

本データシートには、solid DB と solid DB Universal Cache の全ての機能とメリットが記載されているわけではありません。これら 2 製品のより詳細な情報は、以下の Web サイトをご参照ください。

[ibm.com/software/data/soliddb](http://ibm.com/software/data/soliddb)

### solidDB Universal Cache v6.5 および solidDB v6.5 の主な機能強化

solidDB v6.5 製品ファミリーの両製品とも、以下の新機能を提供します。

#### 共有メモリーへのアクセス

solidDB v6.5 に基づいて、複数のアプリケーションを完全な solidDB サーバー・コードから構成される動的ライブラリに関連付けることによって、パフォーマンスを改善しレスポンスタイムを削減することが可能になりました。アプリケーションは、共有メモリーセグメントを通じて共有メモリーに存在するデータにアクセスします。この共有メモリーへのアクセスによって、複数のアプリケーションが単一の solidDB インスタンスを共有することができます。さらに、複数の solidDB インスタンスが同じシステム

に共存することもできます。

#### 分散トランザクションのサポート

solidDB v6.5 は、Java™ Transaction API (JTA) インターフェースによって、分散トランザクションを 2 相コミットでサポートします。この機能強化によって、solidDB v6.5 は IBM WebSphere<sup>®</sup> Application Server のような先進的なアプリケーション・サーバーとの相互運用が可能になり、複数のデータソースを必要とする複雑なアプリケーションを管理することができるようになりました。

#### 複数言語サポートの改善

solidDB v6.5 は Unicode をサポートし、世界の主要言語で使用される文字のエンコード機能を提供し、より柔軟なアプリケーション開発環境を実現します。さらに、複数のアプリケーションが同じ solidDB v6.5 のインスタンスに接続する際に、異なる文字コードを使用することも可能です。

### 新規の監査証跡機能

様々な業界において IT 監査へのニーズが高まるなか、solidDB v6.5 は新規に監査証跡機能を提供し、データベース内のユーザーとスキーマの変更を首尾一貫してトラッキングする機能を提供します。

### 新規のトランザクション・ログ・リーダー

solidDB v6.5 は、新規の SQL ベースのプログラミング・インターフェースによって solidDB トランザクション・ログ・ファイルを読む機能を提供し、アプリケーション開発者は複製、バックアップ、およびデータ統合を行うためのカスタム・ソリューションを構築することができます。このインターフェースは、ネットワーク上でも共有メモリーへのアクセスにおいても活用することができます。

### FIPS 140-2

solidDB v6.5 は FIPS 140-2 に準拠し、外部の暗号化ルーチンを使用する機能を提供します。

マルチコア・プラットフォームのために、パフォーマンスと使いやすさが強化され、SQL 命令文へのサポート機能が追加されています。

### solidDB Universal Cache の主要な機能強化

以下の新機能は、solidDB Universal Cache v6.5 にのみ適用されます。

### データ・エージング機能を柔軟に設定可能

データ・エージング機能は、アプリケーションが古くなったり鮮度の落ちたデータをバックエンドのディスク・ベースのデータベースに保管したうえで solidDB Universal Cache v6.5 からは削除する機能を指します。本機能によって、solidDB Universal Cache に割り当てられるメモリーの容量が最適化され、アプリケーションに最も関連しているデータが最も適切で有効なデータであることを保証します。solidDB Universal Cache v6.5 は、アプリケーション・レイヤにおいてデータのエージングを包括的に管理します。アプリケーションは、簡単な SQL 命令文でどのデータを solidDB Universal Cache のテーブルから削除すべきかを規定することでデータ・エージングを実施します。アプリケーションはエージングの発生をトランザクション・レベルまたはセッション・レベルで設定することができます。また、

solidDB Universal Cache がバックエンドのデータベースと双方向のレプリケーションを行うなか、データ・エージングを自動的に実行させることも可能です。その際、solidDB Universal Cache から削除されたデータはバックエンドのデータベースからキャッシュにレプリケーションされることはありません。

### SQL パススルーを動的かつ柔軟に実施

solidDB Universal Cache v6.5 によって、アプリケーションがキャッシュされたデータとキャッシュされていないデータにアクセスし、バックエンド・データベースへの明示的な接続を維持する必要がなくなったため、導入の柔軟性が高まり開発コストを削減することが可能になりました。このパススルー機能によって、SQL 命令文が solidDB Universal Cache のキャッシュされたテーブルでローカルに実施されるのか、バックエンドのデータベースにリダイレクトされるべきかがチェックされます。solidDB Universal Cache v6.5 の SQL パススルー機能はセッション・レベルまたはトランザクション・レベルで実施することができ、システム稼動状況に基づいて動的に調整を行うことができます。その結果、アプリケーションの柔軟性が向上し、より厳密な管理ができるようになります。

### より詳細な情報について

IBM solidDB に関するより詳細な情報については、IBM の営業担当員または IBM のビジネス・パートナーにお問い合わせください。以下の IBM の Web サイトでも情報をご確認いただくことができます。

[ibm.com/software/jp/data/solid](http://ibm.com/software/jp/data/solid)

法律の要件に対する遵守を確認する責任はお客様にあります。お客様の事業に関連する可能性のある法律および規制に関する要件、およびかかる法律を遵守するために取るべき行動について確認および解釈が必要な場合は、法律の専門家の助言を取得するのはお客様の責任になります。IBM は当社のサービスまたは製品がいかなる法律または規制に対応するものかどうかについて、法的な助言や保証をお客様に対して行うことはありません。

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2010  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan  
February 2010  
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および solidDB は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、以下をご覧ください。  
[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標またはサービスマークです。

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。

本書に含まれる情報は、情報提供のみを目的に提供されています。本文書の情報の完全性および正確性については最善の努力を払いましたが、本文書の内容は法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負うことなく、現存するままの状態を提供されます。また、本文書は IBM の現在の製品プランまたは戦略に基づくものです。この製品プランまたは戦略は予告なく変更されることがあります。IBM は本文書およびその他関連文書の使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。本文書は、IBM（または IBM のサプライヤーまたはライセンサー）にいかなる保証責任を負わせるものではなく、また、IBM ソフトウェアの使用に際し適用される、プログラムのご使用条件の内容も変更するものではありません。